

目標達成計画

作成日: 平成22年12月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18 23 56	本人やその家族をより理解し思いや意向を職員が受け止め、支え合いながら、より良い生活を検討していく姿勢を持つ。	利用者個々への関心を深め、利用者・家族・職員と相互関係を保ち、より良いケアが提供できるように検討していく体制を整備していく。	・職員個々の関わり方を見直し、利用者の残された能力を活かせる接し方を検討していく。 ・利用者個々との関わりを深めていけるように担当者制などの導入を検討していく。	3ヶ月
2	19	家族等への定期的な状況報告。	家族等へ利用者の状況や施設の状況など定期的な報告を行うことで家族とのつながりを深めていく。	・施設だより等の定期的な作成・出版 ・状況をより理解していただけるように定期的にサービス担当者会議等への参加を家族に促していく。	3ヶ月
3	33	重度化・終末期に向けた指針の中で看護・介護における段階的ケア対応方法の明文化。	重度化・終末期の状況にあって、それぞれの入居者の状況に合わせ看護・介護における段階的ケアの対応方法を明文化する。	・重度化した場合における対応に係る指針の見直しを行い、現行の体制にて提供できるサービス内容を検討し明確にできるよう記載する。 ・提供するサービス内容を記載した同意書を作成し本人・家族に同意を得られるようにしていく。	3ヶ月
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。